

小紋着付けの部 (自装)

競技要綱

〈競技種目〉

自装にて、「小紋」の着付けと名古屋帯「一重太鼓」の帯結び

〈競技規定〉

1. 審査ポイント

トータルビューティな視点からの創造性・調和美を対象とする。

2. 競技時間

補正・長襦袢着付け……20分（監視員立会いの下、控室にて体型補正から長襦袢・着物の衿止めまでを行う）
小紋着付け・帯結び……15分（競技会場にて行う）

3. 競技の前準備

- ① 帯は、てさきを上にして屏風だたみにし、必要な小物類を準備する。
- ② 足袋をはき、和装肌着を着用して、待機する。

4. 競技方法

競技は①「体型補正から長襦袢着付け」と、②「小紋着付けから帯結び」を分けて行う。

- ① 競技は監視員の指示の下、控室にて体型補正から長襦袢までの着付け後、着物を羽織り、衿止めまでを20分で行う。

※移動のため、着物の裾を上げて合わせ腰紐を仮に締める。競技位置で腰紐を取り、裾を下して準備する。

- ② 競技はステージ上にて、小紋着付け・帯結びを15分間で行う。

〈競技規定および禁止事項 ※違反者は減点もしくは失格となります〉

1. 選手は、専修学校や着付け教室で着付けを学んでいる方から、着付け業務に従事する方まで幅広く対象とする（但し、地区コンテスト大会等で代表選考された者を優先する）。
2. 使用する衣装、下着、小物類一式、草履は各自持参のこと。
 - ・着物……小紋（腰上げなし・AYプレタ着物可、二部式セパレートタイプ不可、重ね半衿不可）
 - ・帯……名古屋帯（一重太鼓） ※お太鼓枕使用（作り帯・二部式帯は不可）。
後ろ又は前で一重太鼓を作る方法、仮紐使用又は結ぶ方法は可。
 - ・和装下着……裾除け肌襦袢またはワンピース式も可。
 - ・小物類……紐（モスリン可）・仮紐・衿止め（洗濯バサミ不可）・帯板
 - ・伊達じゅめ又は伊達巻き使用可（ゴム製品以外）。
 - ・おはしよりに半紙及びパネロンを使用してもよい。
 - ・衣装敷（並サイズ：100 cm × 150 cm）
3. 選手同士の用具の貸し借りはしない。また用具等の忘れ物があっても、大会本部からの貸出しは一切しない。
4. 半衿は白無地（刺繍、縮緬を除く） ・加工衿はアイコー衿に限り使用可。
5. 長襦袢の衿は、広衿の場合、衿肩あきから衿肩あきのみ糸で綴じてもよい。
6. 小紋の衿は、衿肩あきから衿肩あきまでのみ糸で綴じてよい。
7. 必要以上に完成された補正用品及び着物ベルトの使用は不可とする。但し、タオル、コットン等自分で組み合わせてとじたものは可。
8. 帯に形付けしたり、帯や着物に糸やその他による印、固定は一切認めない。
9. 助手の同伴は一切認められない。

〈当日の注意事項〉

1. 当日の行動は監視員の指示に従うこと。
2. 競技中、選手同士または観客と話をしてはならない。
3. 競技中、他の選手に迷惑をかける言動をしたり、監視員の指示に従わない場合は、退場を命じることがある。
4. 競技終了後、選手は作品に一切触れてはならない。
5. 競技終了後、選手はただちに用具その他のものを持って、退場しなければならない。
6. 入賞者は記念撮影をするので表彰式終了後速やかに指定の撮影会場へ移動する。

※貴重品の紛失・盗難につきましては、主催者側では責任を負いかねますので各自充分ご注意ください。

〈審査事項〉

大会運営規則に基づき委嘱された審査員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、審査業務を行う。

〈監視事項〉

大会運営規則に基づき委嘱された監視員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、監視業務を行う。

〈採点精算〉

大会運営規則に定められた「職務要綱」に記載する。

〈順位決定〉

順位の決定は審査員の採点の合計点に基づき、決定する（但し、同点の場合は運営規則に基づき決定する）。

〈表彰〉

入賞者の数については、出場選手の数に応じて大会実行委員長が決定する。